

令和5年度第1回諫早市特別職報酬等審議会

1 日 時 令和5年11月13日(月)午後3時～

2 場 所 諫早市役所8階 8-2会議室

3 出席者 委員 7名
池田雅英委員
入江良美委員
古賀文朗委員
永江正澄委員
西村久美子委員
日野出悦子委員
山口 実委員
欠席者 委員 1名
真壁正二郎委員
事務局 6名

4 会議次第

委嘱状交付式

- 1 委嘱状交付
- 2 市長挨拶

特別職報酬等審議会

- 1 開会
- 2 会長選出
- 3 諮問
・諫早市議会議員の議員報酬の額について
- 4 議事
(1) 職務代理者指名
(2) 議事録署名人指名
(3) 諮問事項審議
- 5 その他
- 6 閉会

5 審議内容

- (1) 委員の互選により古賀委員を会長に選出

- (2) 市長から審議会へ諮問書を手交
- (3) 会長が答申まで審議会の非公開を提案
⇒全会一致で非公開を決定
- (4) 会長が山口委員を職務代理者に指名
- (5) 会長が入江委員を議事録署名人に指名
- (6) 審議事項

①【事務局から配布資料について説明】

- ・ 配布資料「諫早市特別職報酬等審議会資料」

②【委員の意見・質問及び事務局の説明・回答】

- ・ 新型コロナウイルス感染症も収束し、社会経済状況も戻りつつあり、賃上げの流れもあることから、議員報酬の額については引き上げた方がよい。
- ・ 議員定数も減少し、議員1人あたりの人口も多い状況にあり、その中で議員のなり手確保のためにも、九州管内の類似団体や人口同規模団体の平均程度の議員報酬の額に引上げる必要があるのではないか。
- ・ 本市の議員報酬の額が九州管内の議員報酬の状況を見ても下位にあるところを考えると、市議会議員が諫早市のために一生懸命尽力しようというモチベーションの維持のためには、議員報酬の額の引き上げが必要である。
- ・ 諫早市の議員報酬の額は低いと感じるが、民間からすると、基本給を引き上げるときには財源がないといけない。諫早市の財政状況はどうなっているのか。
⇒ 県内では、財政力は安定している方である。
- ・ 現在の議員報酬の額は高額であると思うところもあるが、社会保障のうち年金は国民年金に加入するしかないし、退職金もない。若い人が市議会議員のなり手となってもらえるように、議員報酬の額の増額は是非やってほしい。
- ・ 市議会議員のなり手として良い人材が出てくるように、議員報酬の額を改定する方向でよい。

- ・ 議員のなり手不足解消のために一定程度の議員報酬の引き上げは必要であると考えるが、改定にあたっては段階的に引き上げることも考えられる。また、議員報酬の額を引き上げるにあたっては、議員が市民にとってもっと身近に感じられる取り組みが必要ではないか。
- ・ 議員報酬の額を増額した方がよいとの意見集約できたが、問題はどれくらいの議員報酬の額が適当なのか。他の地域を参考にしてできるのであればと思う。
- ・ 資料に九州管内の人口同規模都市等の議員報酬の平均額が出ているが、その額プラスアルファで、関東圏の議員報酬と同額とは無理でしょうが、長崎県内第3の都市として、それに見合う議員報酬の額となればと思う。
- ・ 現在の議員24名の中で、議員以外に職に就いていない方は何人いるのか。また、仕事を退職された後に議員になられた方はわかるか。
 - ⇒ 11名の方が議員以外に仕事をされていない。議員の年齢構成としては、令和5年4月1日現在で、30代が1人、40代が1人、50代が6人、60代が10人、70代が7人、平均年齢は62.9歳という状況。
- ・ 議員報酬の額を来年4月から改定する場合、いつの議会に上程することとなるのか。
 - ⇒ その場合は、来年3月議会に提案させていただくことになる。

(7) 意見集約

①【会長による意見集約】

本日の各委員の御意見から、議員報酬の額を増額する方向で、次回、最終的な審議を行いたいと考えているがどうか。

②【委員の意見】

異議なし。